

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2391200207
事業所名	グループホームよびつ木

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	新型コロナウイルス感染症の蔓延防止の観点から、主要な地域との交流機会であった喫茶店やショッピングモール等への外出が途絶えている。コロナ禍の前は、地域の防災訓練に参加したり、祭りの子供神輿を楽しんだり、地域との交流・連携の機会は多かった。職員だけでなく、利用者も従来の自由な外出機会を待ち望んでいる。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	年度末に予定していた6回目の運営推進会議が、新型コロナの影響で開催できなかった。市の方針に沿って、会議メンバーへの配布文書を用意して対応している。	○
重点項目 ③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	運営推進会議には、年間2~3回いきいき支援センター(地域包括支援センター)の職員が参加している。令和2年度からの家賃値上げについて、市の担当者から助言やアドバイスをもらって対応した。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	2つのユニットそれぞれに管理者を置き、利用者・家族と親密な関係を築いており、家族参加の遠足には、約半数の家族が参加する。家族アンケートには感謝や賞讃の言葉が寄せられ、苦情・クレームの類は全くなかった。利用書個別の情報を盛り込んだ「よびつ木通信」が、家族のもとに届けられている。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	—
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況(外部評価)が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的(年2回以上)に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的(年2回以上)に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○